学校便り

緑風

^{令和2年度} 7月号

指宿市立西指宿中学校

校訓 礼節・向学・気魄



キャッチフレーズ 「全力・真剣・本気の西中生」「静止礼と無言自主作業の西中生」

西中ブログ毎日更新中 西中ブログで検索

N先生からのうれしい電話 校長 脇田武志

7月初め,池田中と今和泉中が統合した頃(S40年頃)に,30歳代で本校に社会科担当として勤務していたという先生から学校に電話があった。(本校を出た後,管理職や委員会での勤務,教育長も経験された方)

「新聞で、西指宿中のことや生徒の作文を見るたびに当時のことを懐かしく思い出す。先日も"黒ジョカ"の先生と生徒とのほほえましい会話の記事を見つけて、うれしくて電話しました。」とのこと。

当時,生徒も700人以上いたこと。元気な(やんちゃな?)生徒が多く指導に励んでいたこと。新校舎や体育館・グラウンド等の設計企画にも携わったこと等。話は尽きず,気がつくと30分程過ぎていた。「コロナ対応で御苦労があると思いますが,生徒や先生方に頑張ってくださいと伝えてください。」という励ましもいただいた。

本校は、学校の情報を発信しようと、積極的にブログ等でも広報している。その1つが地元新聞での発信。今年度、生徒作文・地元の方や企業からのマスク寄贈・黒ジョカの記事など取材・掲載された。以下は、地元の方の学校への想い・愛をしっかり受け止めていることが伝わる生徒作文である。(国語授業で書き、添削後先日新聞投稿したもの)

普段、自分たちが生活できるのも、地域の方々の支えがあるからだと思う。例えば、学校の芝生をきれいにしてくださる地域の方がいる。放課後に、お一人で芝を刈っている姿をよく目にする。この方の作業がなければ、校庭の芝生は、草だらけになってしまうだろう。これだけではない。今、コロナウイルスがまだ終息しない中、本校生徒・先生全員のことを思って十枚程を一人で作ってくださった方もいた。西指宿中学校の生徒・先生全員のことを思って作ってくださったんだなと改めて思った。普段、私たちが安全に学校に行けるのも、地域の方々が、登校・下校を見守ってくださっているからだと思う。地域の方々にあいさつをすると、必ずあいさつが返ってくる。お互いに気持ちのいいあいさつをするには、これからも、まず自分から大きな声であいさつするように心がけていきたい。私は、地域の方々が西指宿中学校の生徒を見守ってくださっているという感謝の気持ちを忘れずに生活していきたい。



マスク寄贈の永吉さん

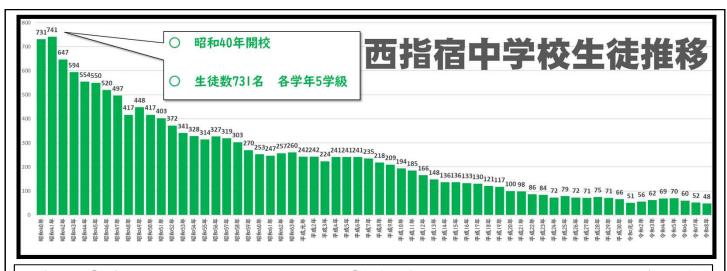


芝刈りをして下さる蓑田さん



西中ブログ毎日更新中!! 上のQRコードを読み取り 子供たちの頑張りを応援 してください。

【今月の言葉】「人は、人の傘になれる。|



巻頭の「N先生からのうれしい電話」の話に、 「全校生徒は700人以上だった。」とのことで、本校 の生徒数の推移をまとめてみると上のグラフになります。現在は56名ですので、昭和40年代を想像す ると校舎中がぎっしりだったのでしょう。また、当時の校舎配置図には各学年5クラスまで記載されて おり、今では想像ができない学校の様子だったのでしょう。校長室前に当時の写真が飾られていますが、 子供たちは「うわっ 多い!!」とか「花壇がきれい!!」などの感想を口にしていました。

それから56年を経て、 それぞれの夏を、 それぞれの想いを胸に 立派に迎えました コロナ禍で思うような活動はできなくても 家族に囲まれて、 精いっぱい頑張りぬいた西中の子供たちに エールを贈ります









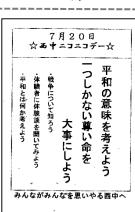




出品しています。今毎年、道の駅の「 彩道花の 党菜館よりい駅灯篭画

マスク」が届きました。地域のリ上がりのために積極的に協り上がりのために積極的に協り上がりのために積極的に協り、 3年生で1月7日の南日の市出り、 3年生が紹介されていました。 ました。 はました。 ろう は、 、七夕飾

争の事を知り、平和と 欲しいと思い が行われました。」と題した中学生の作 生の 心を込めて丁寧に した。この夏休みに,過去の心を込めて丁寧に朗読して王の内薗古都音さんが一言 しは何かな 文の



61

た

ょ

【8・9月の行事】

8/21	(金)	出校日
------	-----	-----

第2学期始業式 9/01 (月)

9/01 (月) ~課題・実カテスト

体育大会予行 9/09 (水)

9/12 (土) 体育大会準備

第56回体育大会(短縮で実施) 9/13 (日)

9/17 (木) 命を考える日

「食育の日」池田湖カヌー大会 9/18 (金)

9/23 (水) 西中読書の日・ノーメディアデー

9/25 (金) 西中=コニコデ -